



1村1自然エネルギー プロジェクト

平成25年9月30日



団体名 阿智村 山づくりの会

会長 水上 宗光



山づくりの会は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区分	摘要			
取組の名称	木質バイオマス燃料の利活用			
取組の主体	阿智村 山づくりの会（住民団体）			
取組の構成団体名 (複数の者で構成する場合)	阿智村 山づくりの会（住民有志で組織）			
普及する自然 エネルギーの種別等	木質バイオマス			
取組の目的	木質バイオマス燃料の利用普及、森林・里山の整備、景観保全			
地域関係者との協働 の内容				
プロジェクトの部門	①地域づくり ②ソーシャルビジネス ③開発研究、④その他 (場作りなど)			
取組（事業）の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階			
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・山林に残されている間伐材を収集・集積し、薪へ加工して燃料として流通させる。 ・山林・里山の間伐や伐採により景観を整備し、美しい山里づくりを促進する。 			
事務局担当者の 連絡先	担当者所 属	山づくりの会 事務局	氏名	大藪政隆
	TEL	090-9135-9020	e-mail	Masataka.ohyabu@satomaru.jp
備考				

注) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所に下線を引いてください。



別紙2

1村1自然エネルギープロジェクト概要書

区分	内容
取組の内容	村内で森林整備や木材加工などに携わる複数の住民グループのメンバーが集まり、「阿智村山づくりの会」を結成し取り組みを行っている。主な取り組みは、地域の山林に放置されている間伐材等の収集～乾燥～薪への加工～販売である。会員や地域住民がこれまで各グループが個別に行って活動を全村的に集約し、村内での木質バイオマス燃料の活用促進と、流通による地域経済の活性化を図っている。間伐材等を山林から収集し集積所まで搬入した会員等には原木収集代が支払われるが、半分を地域通貨（商工会が扱う商品券）で支払うため、地域経済の循環が図られる仕組みとなっている。
取組を行うコミュニティの区域	阿智村内
構成員の役割	会には、会長、副会長、会計、機械責任者等の役職がある。 これまで各地区で活動を行っていたグループのメンバーを中心となって構成している。 <ul style="list-style-type: none"> ・智里西製材クラブ（主に収集・集積担当） ・智里東里山会（主に里山整備、収集担当） ・社会福祉法人夢のつばさ（障害者福祉施設、薪加工担当）
現に活動しているかの有無	活動中
活動の成果等の帰属	地域資源を使った地域経済の活性化により、地産地消や雇用促進が図られる。また、間伐材の収集や伐採により山林や里山が整備され、水資源の保全や景観の保全が図られるため、美しい里山づくりを進めることにもつながり、村内全体の環境を整備し住みよい村づくりに寄与することとなる。
普及推進体制	阿智村山づくりの会が取り組みを実施し、村や関係機関が支援をしている。
取組の有効性	これまで各地区グループが個別に活動していた取り組みを融合させたものにビジネスの要素を取り入れているため、大きな課題や準備は少なく開始できている。また、森林資源という身近なものを活用しているため、他地域で同様の取り組みが十分可能なものである。
継続性及び発展性	現在は収集～販売までの事業を展開しているが、村内の温泉施設等へ働きかけて木質バイオマス燃料の利用を拡大し、自然エネルギービジネスとしての事業運営を安定させていく予定である。

関係法令の手続き状況	開いたては口一矢県本工務自1件
団体設立年月日	平成25年5月29日
ホームページ	(URLを記載)
備考	

添付書類 ①組織の規約（市町村の場合は不要）、②プロジェクトの概要書（別紙）、③構成員名簿、④取組の内容の分かる資料（写真等）

注）変更登録申請を行う場合は、変更箇所に下線を引いてください。

